

共通科目

(博士後期課程)

科目名	リーダーシップ・マネジメント特論	code number : HPM 314	必修	1 単位
-----	------------------	--------------------------	----	------

科目責任者	石川 ひろの 教授						
配当年次	1年次	配当学期	後期	曜日・時限	水曜 1,2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

医療は大きな社会システムの一部である。その医療も人間から成り立つ組織であることには変わりはない。そうした医療に関する組織でリーダーシップを発揮し組織に貢献するには人間組織の理解が不可欠である。本講義では、組織一般の理解を深めるために一般の経営学を基礎にした学習を行う。また、いわゆる正解のない分野であるため、異なる視点からの討論を中心に講義を進める。これらの内容を通じて、公衆衛生分野で将来のリーダーとなるべき人材として必須の知識・技能を修得することを基本目標とする。また、最近ではインターネットの普及やマスメディアの情報発信機能の向上により、ヘルスコミュニケーションのあり方は大きく変化している。そこで、医療専門家から国民に広く発信する情報提供(診療実績、診療ガイドライン、疫学調査報告、臨床試験登録など)、医療専門家でなくマスメディアから国民に広く発信する情報提供(ニュース、健康番組など)、医療専門家間での情報交流(専門誌、学会、研究会、インターネットなど)、患者を含む国民の間での情報交流など様々なレベルでのヘルスコミュニケーションについてその意義や課題について討論する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 人間組織管理一般について理解する。
2. その一般理論を保健医療の分野に応用できる・個人や社会として最適な健康上のアウトカムを得るために必要な医学・医療に関する知識や情報を正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうヘルスコミュニケーションの理論体系を理解する。

【行動目標(SBO)】

1. 具体的な状況をシミュレーションしながら、ヘルスコミュニケーションが実践できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 課題レポート (50%)
 - (2) 講義内でのワークやプレゼンテーション (30%)
 - (3) 講義での発言や議論 (20%)
- 注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 石川ひろの著. 大修館書店. 2020
- ・各授業で予習すべき文献を指定する。

5. 参考書

- ・Drucker PF. Management: tasks, responsibilities, practices. Harper, 1973
- ・岩崎夏海:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら ダイヤモンド社, 2009年
- ・P.F.ドラッカー著、上田惇生編訳「エッセンシャルズ版マネジメント―基本と原則」ダイヤモンド社, 2013年
- ・石川 ひろの, 武田 裕子 (翻訳). 患者と医師のコミュニケーション. 篠原出版新社, 2007年

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・全15コマの講義のうち、8コマ以上を受講すればよいが、履修時は事前にどの講義を受講するかを科目責任者と相談すること。
- ・指定文献を授業出席者全員が事前に読むことを求める。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

リーダーシップ・マネジメント特論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/15(水)	1	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションとは ヘルスコミュニケーションの意義と役割
2	9/15(水)	2	中田 善規 教授	組織マネジメント論と事業マネジメントの基本
3	9/29(水)	1	中田 善規 教授	リーダーシップの種類と自己分析
4	9/29(水)	2	石川ひろの 教授	多職種連携のコミュニケーション コミュニケーションネットワーク、多様性の理解、リーダーシップ
5	10/13(水)	1	石川ひろの 教授	行動変容を促す対人コミュニケーション 対人コミュニケーションの理論、Shared decision making、説得的コミュニケーション、コーチング
6	10/13(水)	2	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションの分析・評価と実証研究① 対面でのコミュニケーション、質的・量的分析、相互作用分析
7	10/27(水)	1	奥原 剛 講師(非) 石川ひろの 教授	情報提供のためのコミュニケーション① 文書によるコミュニケーション、分かりやすさ、説得性
8	10/27(水)	2	奥原 剛 講師(非) 石川ひろの 教授	情報提供のためのコミュニケーション② 行動変容を促す保健医療文書の作り方
9	11/10(水)	1	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションの分析・評価と実証研究② 文書でのコミュニケーション、内容分析、リーダビリティ評価
10	11/10(水)	2	石川ひろの 教授	健康教育とヘルスキャンペーン 健康行動理論、ソーシャルマーケティング
11	11/24(水)	1	加藤 美生 石川ひろの 助教授	マスメディアによるコミュニケーション① メディアコミュニケーションの理論、マスメディア(テレビや新聞)の影響
12	11/24(水)	2	加藤 美生 石川ひろの 助教授	マスメディアによるコミュニケーション② 作り手との協働、医療ジャーナリズム、エンターテインメント・エデュケーション
13	12/8(水)	1	加藤 美生 石川ひろの 助教授	リスク・コミュニケーション 平時のコミュニケーション、緊急時のコミュニケーション、CERC (CDC)
14	12/8(水)	2	石川ひろの 教授	オンラインのコミュニケーション インターネット、ソーシャルメディア、情報収集行動
15	12/22(水)	2	石川ひろの 教授	政策形成とアドボカシーのコミュニケーション 社会へのメッセージの発信、アドボカシー